

大植町民生委員児童委員協議会

～一斉改選期を迎える現在の様子～

(平成 25 年 12 月 13 日掲載)

東日本大震災から 2 年 7 か月が経過しました。これまで、全国からの様々なご支援があり、町民も徐々に自立した生活が送れるようになってきています。しかし、仮設住宅に住む町民からは、「仮設住宅の 4 畳半での生活はきつい…」「家の問題を早く解決してもらわないと、先に進むことはできない」という声が出ています。

そのような状況のなか、大植町では、災害公営住宅 980 戸の整備を予定しています。

現在 2 か所、大ヶ口町営住宅跡地に 70 戸、吉里給食センター隣に 34 戸が完成し入居が進んでいます。また、年内には、屋敷前町営住宅跡地 21 戸が完成する予定です。

今後、町内に新居を再建する方、災害公営住宅に移る方、町外に移り住む方等、人の移動が始まります。民生委員活動は、民生委員が住み慣れた地域に長年暮らし、地域や人を把握しているから十分な活動ができると思います。

一斉改選を迎えるにあたっての大植町民児協の課題は、仮設住宅から新居に移るこれからの数年間、人の移動に伴う民生委員担当地区の見直し、委員の配置、要援護者の把握です。

また、民生委員のなり手がいないということも課題です。大植町の民生委員定数は 48 名ですが、平成 25 年 10 月 1 日現在で現員数 42 名の状況です。そのなかで、今期で退任する委員 8 名に対し新任委員は 4 名と、平成 25 年 12 月 1 日からは 37 名となり、10 名欠員でのスタートになります。

このような状況のなか、民生委員だけで地域課題や要援護者の見守り活動等続けることは、委員の負担が増え、難しい状況となりますが、今後も地域包括支援センター、社協の生活支援相談員、保健師等と住民の支援ニーズ等を情報共有しながら地域課題に取り組んでまいります。



災害公営住宅(吉里吉里給食センター隣 34 戸)



災害公営住宅(大ヶ口町営住宅跡地 70 戸)